

平成19年12月26日

各 位

日本出版貿易株式会社
 代表取締役社長 関口晴生
 (JASDAQコード番号・8072)
 問い合わせ先
 取締役事業管理部本部長 天内健一
 電話番号 03-3292-3751

(訂正) 「平成20年3月期中間決算短信」の一部訂正について

平成19年11月15日に発表いたしました「中間決算短信」の内容に一部訂正がありましたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

I. 訂正の理由

社内における精査の結果、記載内容に誤りが見つかったため訂正するものであります。

II. 訂正箇所

訂正箇所は下線を付して表示しております。

訂正箇所① (23ページ)

中間連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項

4. 会計処理基準に関する事項

(修正前)	(修正後)
当中間連結会計期間 (自 平成19年4月1日 至 平成19年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 平成19年4月1日 至 平成19年9月30日)
(追加情報) 当社は、平成19年4月25日開催の取締役会で役員退職慰労金制度を平成19年3月末日をもって廃止する決議をし、平成19年6月27日開催の定時株主総会において在任期間に対応する役員退職慰労金を打ち切り支給する旨の決議がされたこととともない、前連結	(追加情報) 当社は、平成19年4月25日開催の取締役会で役員退職慰労金制度を平成19年3月末日をもって廃止する決議をし、平成19年6月27日開催の定時株主総会において在任期間に対応する役員退職慰労金を打ち切り支給する旨の決議がされたこととともない、前連結

<p>会計年度に計上した役員退職慰労引当金のうち、打ち切り支給額の未払い分を「固定負債」の「その他」（長期未払金）に計上しております。</p> <p>なお、役員退職慰労金制度の廃止の検討が、前連結会計年度の下期であったことから前中間連結会計期間においては従来の支給時に計上する方法によっております。従って前中間連結会計期間は前連結会計年度に行なった変更後の方法によった場合に比べ、営業損失及び経常損失は4,496千円少なく、税金等調整前当期純利益は85,279千円多く計上されております。</p>	<p>会計年度に計上した役員退職慰労引当金のうち、打ち切り支給額の未払い分を「固定負債」の「その他」（長期未払金）に計上しております。</p> <p>なお、役員退職慰労金制度の廃止の検討が、前連結会計年度の下期であったことから前中間連結会計期間においては従来の支給時に計上する方法によっております。従って前中間連結会計期間は前連結会計年度に行なった変更後の方法によった場合に比べ、営業損失及び経常損失は4,496千円少なく、税金等調整前中間純利益は85,279千円多く計上されております。</p>
--	--

訂正箇所② (53ページ)

注記事項

(1株当たり情報)

(修正前)		(修正後)	
当中間会計期間 (自 平成19年4月1日 至 平成19年9月30日)		当中間会計期間 (自 平成19年4月1日 至 平成19年9月30日)	
1株当たり純資産額	158円99銭	1株当たり純資産額	158円99銭
1株当たり中間純利益	1円 24 銭	1株当たり中間純利益	1円 24 銭
なお、潜在株式調整後1株当たり中間純利益については、潜在株式がないため記載しておりません。		なお、潜在株式調整後1株当たり中間純利益については、潜在株式がないため記載しておりません。	

以 上